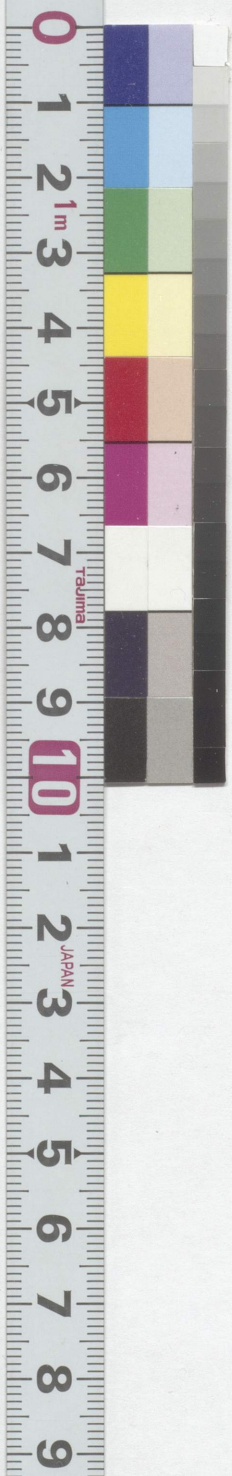


算法通解

中

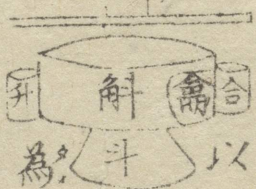
大正三





升之起

量



以銅

為之

量六升起也

起於黃鐘之龠

其容拒黍中者

千二百實龠中

以井水準其

十龠為合十合

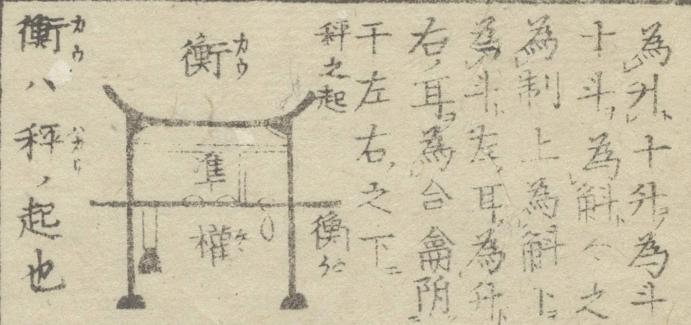
第 十二 枚木賣買二系竹板そりの

五寸角の二間本十本の代猪鬃十枚  
 四寸角の二間本八本の代猪鬃八枚  
 角のゆり 是て代猪鬃又木く是何れと小を  
 四 養守角八寸本の代七十枚四ト八寸角に  
 一七 三十枚本と多ると云え八寸守よ四寸とク  
 木く五寸守と多れば八寸と多ると云え又五寸  
 五寸とク二五と多ると云え七寸と多ると云え八寸と多  
 二十二寸と多ると云え八寸と多ると云え何守角五十  
 本の代と多ると云え

又六の四寸角一本八何程と多ると四一五寸ト  
 八七と多ると云え八七寸と多ると云え五寸守と多  
 四寸角一本の代と多ると云え

兆吉識





為升十升為斗  
十斗為斛之  
為制上為斛上  
為斗左耳為升  
右耳為合龠附  
于左右之下  
秤之起  
衡  
秤之起  
秤之起  
秤之起

寫角の二寸木十寸の代指十二寸五寸又五寸  
角長或五寸五寸木十八寸五寸是と寸角也  
と、必指と寸 答六寸角十八寸の代寸九  
寸四寸或九寸と云 方八寸二寸六寸と寸二  
寸六寸六寸と寸五寸角のありと五寸五寸  
と寸木長十八寸と寸六寸六寸と寸六寸と寸  
又六五と寸六寸六寸八寸と寸是と寸安し  
寸の六寸七寸と寸五寸十寸或寸と寸と寸  
五寸十八寸の代寸と寸

起於黃鐘之重  
一 龠之參重  
二 錄積二十四  
銖為兩十六兩  
為斤三十斤為  
鈞四鈞為石  
九章始方田而  
終勾股日用數  
術魚出此内也  
一曰方田  
田以  
時

此板の方より之板の方へ小引ちんの代女  
る有半るるとむさん利して以て板二十  
又るの代何あり同 蓋八十八板八寸八寸と  
云 右を左板又八寸と下と寸五寸六寸と寸と寸  
め、金又十寸半とありと板小寸と寸七寸二  
寸と板是と寸安しと寸の二と寸と寸七寸六寸  
と寸と寸小寸八寸と寸と寸と寸

柱 長六尺六寸  
柱 長六尺八寸  
代指物程と同十寸或寸六寸と寸と寸と寸と寸と寸



二曰粟布以御  
交質御

變易ヲ

三曰表分以御  
貴賤御

廣稅ヲ

四曰少廣以御  
積累御

方川ヲ

五曰商功以御  
功程御

積實ヲ

七寸八寸とをまじへて六六寸とをまじへて十二寸と  
は九六と九六とをまじへて右より九寸又九寸  
一分八寸とくけりて直り六六寸八寸とくけ  
四九六と四とをまじへて同安より右の九六と  
四九六とをまじへて十八分とくけりて右より九寸と

長七寸の丸木の氏  
は七寸の丸木の氏  
は七寸の丸木の氏  
は七寸の丸木の氏

右のキリは七寸と四二と以て右の角の面は  
寸九分又りと知る又四り三天の丸木の角の  
けりの何程と同四二天と四〇四六八九と刻角の  
面をまじへて右の四二と三二六とくけりて一級とる  
と右と右と

六曰均輸以御  
遠近御

勞費ヲ

七曰盈朒以御  
隱雜御

互見ヲ

八曰方程以御  
雜操御

正負ヲ

九曰勾股以御  
高深御

廣遠ヲ

八寸の丸木の氏  
は八寸の丸木の氏  
は八寸の丸木の氏  
は八寸の丸木の氏

右の八寸と二とをまじへて右の角の面は  
寸九分又りと知る又四り三天の丸木の角の  
けりの何程と同四二天と四〇四六八九と刻角の  
面をまじへて右の四二と三二六とくけりて一級とる  
と右と右と

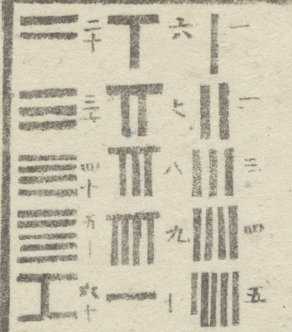
長二寸の丸木の氏  
は二寸の丸木の氏  
は二寸の丸木の氏  
は二寸の丸木の氏

右の長二寸と七九とくけりて右の角の面は  
寸九分又りと知る又四り三天の丸木の角の  
けりの何程と同四二天と四〇四六八九と刻角の  
面をまじへて右の四二と三二六とくけりて一級とる  
と右と右と

竹一尺八寸とをまじへて右の角の面は  
寸九分又りと知る又四り三天の丸木の角の  
けりの何程と同四二天と四〇四六八九と刻角の  
面をまじへて右の四二と三二六とくけりて一級とる  
と右と右と

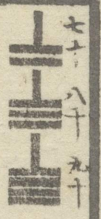


算木立 一ノハハノ  
 十ハノとあり  
 本あり二三四五六七  
 八九をハハノあり  
 又十ハノ二十四十八十  
 六十七十八十九十  
 十一ハノ右きんぎの  
 立ノ別表に記す



管母木二ノハハノ  
 重ノ合ハハノ  
 あり又二天ハハノ  
 又ハハノ二ハハノ  
 一ホハハノハハノ  
 けハハノハハノ

竹二天ハハノ  
 一ホハハノハハノ  
 右ハハノハハノ  
 あり又ハハノハハノ  
 二六ハハノハハノ



七十 八十 九十  
 百ハハノハハノ  
 あり又ハハノハハノ  
 あり又ハハノハハノ  
 あり又ハハノハハノ  
 あり又ハハノハハノ

あり又ハハノハハノ  
 あり又ハハノハハノ  
 あり又ハハノハハノ  
 あり又ハハノハハノ

あり又ハハノハハノ  
 あり又ハハノハハノ  
 あり又ハハノハハノ  
 あり又ハハノハハノ



さんぎのこそやう  
あざのよあめど  
くねらうぬちか  
ひよこそよこに  
大敷小敷ふは  
あくまうり

藩六已上入主上  
方とまのあ、死を  
如く六と云時と  
下めはふあくまうり

又三百六十入百平入枚五と子枚、付代積一女  
八トツ、  
一リ七毛と云、右のモ木枚、八トと云、

第十二 縮布賣買

布一丈、武太六丈と指、六丈入下の死、  
何れぞ、同着二を、入リし、色、二あると云、  
六入下と、武太六丈、で、有るあり

布一丈、付二ト、入リし、き、れ、の、  
入天、一、及、代、何、後、と、向、六、  
右、二、天、入、天、二、を、入、リ、し、と、云、

き、  
指、十、  
十、  
十、

あつねが上のこの  
一と五ありあつね  
まご六十と云、  
上かくのごとく  
あくまうり  
上のこの、  
大い用、  
そらむん、  
らう、  
あ、  
あ、

六の不換裏との

さ、  
何、  
一、

き、  
二、  
着、  
と、

又、  
何、  
う、

第十四 好流賣買



六と 〱〱〱〱 ぬいよと  
又二十と 〱〱〱〱 ぬい  
よも 〱〱〱〱 ぬい  
又の 不 単 結 との 〱〱〱〱  
ハ 五 と 一 ぬいよと  
すこ 一 ぬいよと  
不 〱〱〱〱 の ぬいよと  
〱〱〱〱 ぬいよと  
〱〱〱〱 ぬいよと  
又 〱〱〱〱 ぬいよと  
〱〱〱〱 ぬいよと

若く二子枝貫と死百枝、付諸十二女として  
二子枝の代何れどその同 若く二百二十多と云  
若く二子枝十二女と云其がその代あるあり

若く二百二十多と云其は中内百枝付十二多  
れして以諸の諸何れと四二子枝とのぬいよと云  
若く百枝の代をこれか多の敷ありと

若く二子枝の代諸二百二十多の百枝、付諸若  
若く百枝、付十二女と云其がその代あるあり  
若く二子枝の代をこれか多の敷ありと

又若く二子枝、付十二女と云其がその代あるあり  
若く百枝、付十二女と云其がその代あるあり  
若く二子枝の代をこれか多の敷ありと

中ニかくあり  
その 同名 ぬ 減  
〱〱〱〱 ぬいよと  
〱〱〱〱 ぬいよと  
〱〱〱〱 ぬいよと  
〱〱〱〱 ぬいよと  
〱〱〱〱 ぬいよと  
〱〱〱〱 ぬいよと  
〱〱〱〱 ぬいよと  
〱〱〱〱 ぬいよと  
〱〱〱〱 ぬいよと  
〱〱〱〱 ぬいよと

二寸は二子枝と四寸は二子枝と何れに  
若く二子枝、付十二女と云其がその代あるあり  
若く百枝、付十二女と云其がその代あるあり  
若く二子枝の代をこれか多の敷ありと

若く二子枝、付十二女と云其がその代あるあり  
若く百枝、付十二女と云其がその代あるあり  
若く二子枝の代をこれか多の敷ありと

二寸は二子枝と四寸は二子枝と何れに  
若く二子枝、付十二女と云其がその代あるあり  
若く百枝、付十二女と云其がその代あるあり  
若く二子枝の代をこれか多の敷ありと

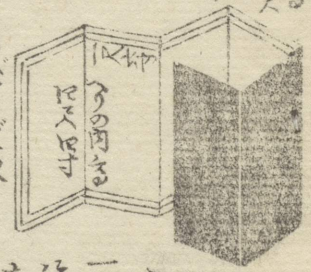
若く二子枝、付十二女と云其がその代あるあり  
若く百枝、付十二女と云其がその代あるあり  
若く二子枝の代をこれか多の敷ありと



するとも紀の末木  
 とるも木の相掛  
 正座人負の負  
 正座人正の正  
 右座一行と紀の  
 後座一取と紀の  
 左座よりゆく算  
 本正算ある色を  
 負本よなる負  
 正色は正木より  
 なるもの其の

美名ありお城別  
 ち同名の相正り  
 正人正の負正  
 人負正の正正  
 とるも木の相掛  
 うりあり同名お  
 正色は正の正正  
 正色は正の正正  
 正色は正の正正  
 正色は正の正正

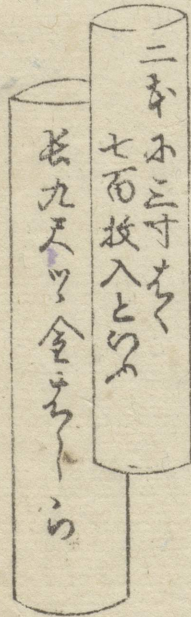
寸七



はたはた

右の先左天六寸六寸六寸六寸六寸六寸と  
 なるもの内故へり六寸六寸六寸六寸六寸と  
 三寸あるとゆるゆるとゆるゆるとゆるゆると  
 六寸六寸六寸六寸六寸六寸六寸六寸六寸六寸  
 六寸六寸六寸六寸六寸六寸六寸六寸六寸六寸  
 九十二寸六寸六寸六寸六寸六寸六寸六寸六寸  
 九十二寸六寸六寸六寸六寸六寸六寸六寸六寸

十六とあると色と色と色と色と色と色と色と色と  
 寸は九寸八寸七寸六寸五寸四寸三寸二寸一寸  
 寸は九寸八寸七寸六寸五寸四寸三寸二寸一寸  
 寸は九寸八寸七寸六寸五寸四寸三寸二寸一寸  
 寸は九寸八寸七寸六寸五寸四寸三寸二寸一寸  
 寸は九寸八寸七寸六寸五寸四寸三寸二寸一寸



二本小二寸

七百枚入

六十六



ままのり日まや  
 おきおき  
 美はおき  
 ぬ負とのけい未  
 未とふ方未とお  
 案一とく負と  
 みる未思ひ美  
 名なり固案の  
 るに案りのき  
 ひと色ある中一  
 小これ小志るさ  
 けるをり

相伊を和と云  
 相案と様と云  
 自和案と界と云  
 自固の案候の同  
 う和を合ると云  
 自案と自案候の  
 同数の合ると云  
 再自固再自案  
 の合と云  
 合と云  
 三自固之自案と

きぬ一及惣地らろとがにちくおくと死  
 張さのちく大と二丈八尺を一天一寸  
 ありひとぬ一寸とちくあるおと合と云  
 昔二百九十一枚二寸入るといふおと二丈  
 八尺一丈二寸と云ふと二丈一丈一  
 寸とある又を二丈一丈二寸と  
 二寸とある一と二丈一丈二寸と  
 二寸とある一と二丈一丈二寸と  
 二寸とある一と二丈一丈二寸と



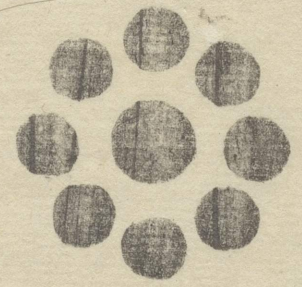
二寸とある一と二丈一丈二寸と  
 二寸とある一と二丈一丈二寸と  
 二寸とある一と二丈一丈二寸と  
 二寸とある一と二丈一丈二寸と  
 二寸とある一と二丈一丈二寸と





皆同敷と云ふを  
合せざるあり  
幾多同敷を  
とりふらば  
て未破  
湘園も相  
と取上げ  
半後ま  
或人同  
厥疑抄小  
四方六

成是と云ふは  
子の積数  
是小と云ふ

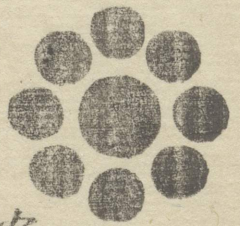


是すは九  
そのありに  
がし小星  
何れを  
うあ井  
三寸七  
寸五分

今と云ふは

今也 大星三寸八分七厘九毫七絲

二枚の積数  
と云ふは  
さうして  
と云ふは

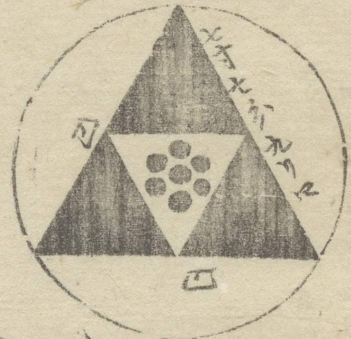


又この  
けりの  
坪尺寸

百七十五  
ひの百  
百四十  
異後  
そのあ  
一  
令  
四方  
とこ  
宜



小判何十枚を  
入おくせうへおと  
十をりりそのお  
あまをいふやう  
お金の小判を  
いづれそのあ乃  
へりをつりる何  
一寸は六面のは  
りのふふちとせ  
おろりて色と法  
とくくとり以  
てたる小判ん



四角の形  
のりてのりあり  
さう後一重八  
寸の丸一重のふこ  
角と二つおれ中よ  
中ふ六つ布しをつ  
るとおれ  
二角のおもて七寸  
七方九りの毛法  
星のさうさう  
ますすもやふあり

第十六 金銀両替

丁銀四百八十枚を  
くろりてさき何れとせと回

のあもめを  
少くして除く  
る小判ん後の  
金を寸四寸六面  
のあもめを  
おろりて金に  
さうさ法の中  
との余いこまに  
たす

そのあれ四百八十枚を  
さき分引く六と成る一銀の有用にさうさ  
といふは四百二十五丁あり  
内一丁より五丁までにして  
丁銀四百八十枚といふは  
八五といふはさうさあり  
丁銀四百八十枚を  
あしを豆板何枚と  
右丁銀の五丁一丁とさうさ  
豆板四百九十枚と  
ひれすしてさうさ  
丁銀四百八十枚といふは  
と一。二とさうさあり



玉葉の式すま  
あかくとあ  
色つり式法は  
と四

答は法不可

更算法はあ  
いふとく高実  
法より何重  
示はると云  
或ハ一重  
猶ととと  
まは術と

六十三

内引即引あろん  
とあつあんのさん  
むと総ハ二とあ  
とあはあはあは  
とあはあはあは  
とあはあはあは  
とあはあはあは

又二つ三分引  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは

内引といふは  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは

合三十四  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは

ストと云  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは

積二百八十二  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは

積二百八十二  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは

小判八十二  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは

まあしくと  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは

或人問日  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは  
あはあはあは

六十四



法の疏更強あや  
 ちるゆ急まりその  
 久孤更強の法  
 不教しんんぬ  
 かしれすう久た  
 あるせりこの法  
 けりと同  
 昔曰法ふ可也  
 尖角積を求るに  
 孤更強の法と角  
 由急きめりやを  
 るりそりしそく

は小判の積何れどそと四入と二百九十二と云  
 ぬ八十二と云と云ぬ三と云りて四入なりて  
 五と云と云りて六十と云と云りて  
 若一珠或珠と云と云ぬ六と云りて四入  
 後小判のさくらをと加らるりて二割と八分一  
 珠二と云と云り  
 積二百九十九と云と云ぬ二と云りて四入  
 六十と云と云ぬ二と云りて四入  
 二と云と云ぬ二と云りて四入  
 積二百八十一と云と云ぬ二と云りて四入  
 ありて小判の積何れどそと四入と二百九十二と云  
 ぬ八十二と云と云ぬ三と云りて四入なりて  
 五と云と云りて六十と云と云りて  
 若一珠或珠と云と云ぬ六と云りて四入  
 後小判のさくらをと加らるりて二割と八分一  
 珠二と云と云り

何角の法も  
 斜と云つても  
 角の法も  
 八角の法も  
 ろくふすこと  
 又七十九角の  
 法の法也  
 人のいふ  
 かくれと云  
 ちる教ゆふ  
 ちりより十

是八入と云と云ぬ九と云りて四入と二百九十二と云  
 ぬ八十二と云と云ぬ三と云りて四入なりて  
 五と云と云りて六十と云と云りて  
 若一珠或珠と云と云ぬ六と云りて四入  
 後小判のさくらをと加らるりて二割と八分一  
 珠二と云と云り  
 積二百九十九と云と云ぬ二と云りて四入  
 六十と云と云ぬ二と云りて四入  
 二と云と云ぬ二と云りて四入  
 積二百八十一と云と云ぬ二と云りて四入  
 ありて小判の積何れどそと四入と二百九十二と云  
 ぬ八十二と云と云ぬ三と云りて四入なりて  
 五と云と云りて六十と云と云りて  
 若一珠或珠と云と云ぬ六と云りて四入  
 後小判のさくらをと加らるりて二割と八分一  
 珠二と云と云り



まての法一紙を  
何れか一申毫  
費九の取れを  
と考すとの法  
御し何れに  
法とたゞし  
まての

成人同同算出に  
田平田の定法微  
細おさんとしとげ  
お改て昔法七八五

利息二百圓を二ツりとしりて六何程ぞ  
と回先金費入百圓とのふちを二百圓と二  
ツりで百圓あり

額一ツ又百圓三ツりおし先利とも何程ふ成  
と回先利先一ツ八百圓と云ふの二ツりとおは  
是れゆゑ二ツ加て二と成る借額を三ツり

額先利合一ツ八百圓を二割りして先金ありあ  
りどぞと回一ツ費入百圓と云ふ先利一ツ八  
百圓と二ツりして又利ありと云ふるとは  
おのふちありと云ふ先利とありて是れ三ツり  
と云ふあり

先金費入百圓は利二面あり何割とあ  
らうと二ツりとあると云ふ先利と先利と

額一ツ入百圓一割八分の利ありて四年の  
利お利と云ふ先利何れ何程と回四ツ  
八百圓六割九トハリ四先と云ふ先利八分あり  
一ツと云ふ二八と先金費入百圓と云ふあり

額一割りて先金費入百圓と云ふ先利合  
と費七百三十二圓四分八厘と成四五年の先金  
利何程と云ふ先利五百圓と云ふ一ツ加て二ツり  
三二と云ふと云ふ二四八八三と成是れ同安  
一と云ふと云ふ三十二圓四トハリと利は先金費あり  
又先利合額と云ふと云ふと云ふ先利も同事あり

額先利入金の割合三百二十圓とト六厘あり  
け利 二年の二割 二年の二割 今年一割  
二年の二割 二年の二割 今年一割

四上法一二四一六と  
利の先金と云ふ  
年分を又より  
八方と云ふは外  
くお句股法  
どりて考の略  
く一かゝりの  
角にありゆゑ  
終お十三万十  
七十二角と一南  
の面二系三九六八  
四四九八〇八四三六



六あるよりこそ  
 小右の南まると  
 紫一均二天一寸  
 四寸一又九余おけ  
 のゆゑふそとを起  
 三二四一六とまへ  
 尺と一歩とより  
 半程とねあし  
 て七十八歩又四と  
 りあゆるとあし  
 りの法ゆゑと云  
 善い法是まら

先報何程と四百入指月とのふたは報と  
 先<sup>④</sup>十一小刻のそとと<sup>⑤</sup>十三おつるそと十二まら  
 そとと十二まらとつるそと十二まら  
 先報六面日月まの利と二奉あつ二月多  
 一奉切定備まあ六月と海なる何先利を  
 おゆるとおつるそと何但二奉月小国月  
 あり六百二十六と七トあると云  
 台へ先報ふ二分とつるそと不何奉月報  
 十一とつるそと十と二トと不何奉月報  
 とつる六百十二と二ととつるそと何先報と  
 ひよりおそとつるそと何二とつるそと二奉月報  
 数十二とつるそと十と九と四りと二ととつる  
 大く六百二十九と一と四りと二とあり又と  
 ちどひよりおつる二分とつるそと南六

ざれども其後  
 小あしとあつる  
 田幸の美園の  
 右新密の法中  
 初め徳義書に  
 のまるとつるの法  
 考ゆつとあつくと  
 何とつるその  
 正程とつるらふ  
 人とまらつとけ  
 救勅の速きる  
 ひとつるさんま

月とつるそと七と五と入りと成るそと何  
 合六百二十六と七トとつるそと

第十八条 井つる  
 今井の法<sup>⑥</sup> 六四八二七 正南あるおは度と二万と海井二万  
 にはとつるそと何井と何井とあるとつる

右井の法<sup>⑦</sup> 六二五 正南あるおは度と二万と海井二万  
 とつるそと何井と何井とあるとつる

亦田幸と何四十六とつるそと何井と何井とあるとつる

右今井の法六四八二七とつるそと何井と何井とあるとつる

右今井の法六二五とつるそと何井と何井とあるとつる

右今井の法六四八二七とつるそと何井と何井とあるとつる



又右小田率の  
 砂の秘法ありと  
 して古法と別  
 ちなりと云ひ  
 まるるもや  
 秘法の秘ありと  
 りとも秘受する  
 者ありと云ひ  
 或人曰む  
 今も今も田乃  
 つの秘法と  
 美説と云あり

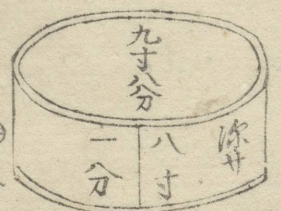
正法如何と問  
 答曰秘法の  
 秘法なり  
 又問その正法  
 正法のため  
 以らんと云  
 答曰たぬ  
 の秘法は  
 うすたぬ  
 とつけ  
 の秘法は  
 の秘法は

正法あり古法の法も同形但右外ハ口廣  
 五寸四方深廿二寸五分なり又十六寸と云ふるに  
 一の壺大四方の内ハ右外廿五寸六分合入る  
 今後より廿五寸六分合入る



右外八寸寸寸二寸四分深廿二寸八寸九分  
 今後より廿二寸四分  
 右外二寸寸七寸八分合入ると  
 一の壺と云ふるも長四寸五分  
 一の壺と云ふるも長四寸五分  
 一の壺と云ふるも長四寸五分  
 一の壺と云ふるも長四寸五分  
 一の壺と云ふるも長四寸五分

八七と云ふは二石一斗入と云ふあり  
 又右外は積る所の右の二二六二二六七と云ふ二  
 又右の坪一三六二二六七と云ふも二石  
 一斗七末八合二八才と云ふ

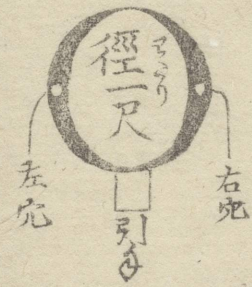


右外法  
 二と云ふは二二六二二六七と云ふは二石  
 一斗六の内と云ふは二二六二二六七と云ふは二石  
 一斗六の内と云ふは二二六二二六七と云ふは二石  
 一斗六の内と云ふは二二六二二六七と云ふは二石  
 一斗六の内と云ふは二二六二二六七と云ふは二石



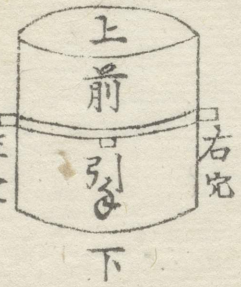
めまん中の左  
右又穴とあか  
下の方より子と  
付金

假名四規



別な權上以後一尺

壁一尺の田壁と  
飛り  
径一尺壁一尺

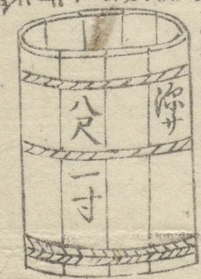


景のうら田親と  
心でおびのごとく  
引上下のま  
申よらめく細

一とを今本の法とて別升教あるあり  
一丸五升物 一斗九分五厘を合  
七 一斗九分五厘を合  
七九とうけの今本の法六八  
二七とありて一斗九分五厘を合  
七九とあり



一斗九分五厘を合  
七九とありて一斗九分五厘を合  
七九とあり

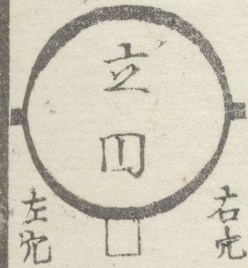


引ハ四寸九分餘を量りて一斗九分五厘を合  
七九とありて一斗九分五厘を合  
七九とあり

一斗九分五厘を合  
七九とありて一斗九分五厘を合  
七九とあり



かひとひくふた  
の穴(つ)はぬき  
あめを引ひき  
筋より上(上)より  
さる(下)はより下(下)  
下よりあ(上)はより  
あ(下)はより下(下)

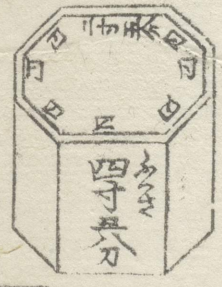


の立田と取事  
袋のごとく  
ひやくはるをそ  
ろひてぬき田を  
とよりきま(宗)  
そ(ぬ)り(と)ま(り)た(ま)  
方の袋物(ひ)は  
その(う)へ(お)ま(り)を  
り(り)十(と)ん(お)液  
てあ(の)ち(ぬ)り  
お(ま)田(を)中(り)  
ひ(く)せ(を)あ(る)る



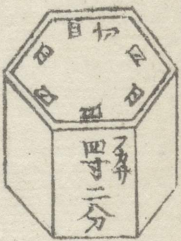
六かく八角を  
法(と)り(て)算(し)る(は)は  
ふ(と)さ(と)り(て)算(し)る(は)  
合(は)せ(て)算(し)る(は)

八角  
二升入

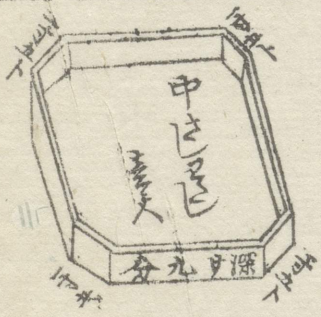


一回(一)方(一)の(一)式(一)寸(一)又(一)ふ(一)あ(一)り(一)を(一)算(一)し(一)て(一)算(一)す(一)下(一)と(一)り(一)け(一)又(一)  
八(八)角(角)の(の)法(法)四(四)八(八)二(二)と(と)り(り)七(七)と(と)り(り)算(算)す(す)の(の)  
式(式)升(升)〇〇(〇〇)一(一)六(六)八(八)余(余)と(と)  
算(算)す(す)下(下)と(と)り(り)け(一)又(一)

六角 二升 六合 九分



面(一)一(一)方(一)の(一)式(一)寸(一)と(一)あ(一)り(一)と(一)算(一)す(一)下(一)と(一)り(一)け(一)又(一)  
一(一)と(一)算(一)す(一)下(一)と(一)り(一)け(一)又(一)  
六(六)七(七)二(二)と(と)り(り)算(算)す(す)下(下)と(と)り(り)け(一)又(一)  
五(五)九(九)八(八)と(と)り(り)一(一)七(七)四(四)五(五)九(九)八(八)と(と)り(り)算(算)す(す)下(下)と(と)り(り)け(一)又(一)  
一(一)七(七)四(四)五(五)八(八)と(と)り(り)算(算)す(す)下(下)と(と)り(り)け(一)又(一)  
六(六)四(四)八(八)二(二)七(七)と(と)り(り)算(算)す(す)下(下)と(と)り(り)け(一)又(一)  
二(二)才(才)一(一)と(と)り(り)算(算)す(す)下(下)と(と)り(り)け(一)又(一)



中(中)は(は)九(九)分(分)  
九(九)分(分)と(と)り(り)算(算)す(す)下(下)と(と)り(り)け(一)又(一)  
一(一)と(と)り(り)算(算)す(す)下(下)と(と)り(り)け(一)又(一)

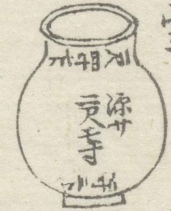


その為るべきに成  
つりつゝまゐり  
其一天のつわりと  
ためしきもの  
等と據るるつり  
ことあるまゝと  
ことあるまゝと  
自らおぼゆるは  
ゆゑあり  
以上據るる等  
のものはつり  
と見しあり

よそは二升一升二八八七才入るとあり

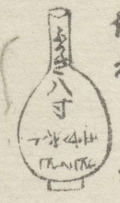
斗 或升入

壺



先の上二人等七分七寸五分入  
より見れば面〇八八又と破ら  
あは上よりこの内寸の指を  
指引の法七寸五分入り等量  
重は合源法の法を以て割る  
〇七八とある量とあるは  
と重合面六〇又五五重源等  
七寸とあるは一升の法八〇  
を以て重合面等とあり

徳利



壺升〇二八二分八分入量  
を重し重合之〇六と破り  
八寸とある〇八八とある  
八とある二〇七〇とある

備よかきるべし

或人同法其筆法  
竅難抄より五  
皮歩法の正術  
老あり救者必兄  
付事ことある  
美相のそと  
さしわらま  
来小候船の  
ととある

三とひく二五が六六九〇とある  
法六八二七とあり

花入 水二合五九九札入



水二合五九九札入  
九の外より一尺但あり  
二〇とあるは倍して  
引ハ内より九寸九分と  
とある量とある二  
の身一十寸は三  
一四寸月ありと一九  
二寸八分とあるは  
二とあるはあり  
これを今井の法六八  
夕又九とあり











|           |            |            |           |            |            |            |
|-----------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|
| 三斗        | 二斗         | 一斗         | 五升        | 二升         | 四升         | 六升         |
| 同四寸四分五厘三毛 | 同三寸七分〇一毛   | 同二寸六分〇三毛五  | 同四寸二分八厘六毛 | 同六寸二分七厘三毛六 | 同七寸七分七厘三毛三 | 同八寸九分三厘九毛九 |
| 三合        | 二合         | 一合         | 五升        | 三升         | 五升         | 七升         |
| 同四寸八分〇七毛五 | 同三寸八分六厘五毛五 | 同二寸七分七厘四毛二 | 同四寸二分八厘六毛 | 同六寸二分七厘三毛六 | 同七寸七分七厘三毛三 | 同八寸九分三厘九毛九 |

つよふもろて田也  
 法二一四一六と或  
 是再自固小索  
 一と可也  
 松ハ初年坪化兩  
 二百十四張一分六  
 厘と那るとさるる  
 あり

此法のまゝと問  
 答同化面三百十四  
 張一分六厘とさる  
 と是と直天なる

|            |           |             |             |             |             |
|------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 八升         | 一斗        | 三斗          | 五斗          | 七斗          | 九斗          |
| 同九寸八分      | 同五寸八分七厘七毛 | 同二尺五寸二分七厘四毛 | 同九寸九分四厘七毛   | 同二尺一分九厘三毛三  | 同二尺二寸九分五厘九毛 |
| 九升         | 二斗        | 四斗          | 六斗          | 八斗          | 一石          |
| 同二尺一分九厘二毛四 | 同七寸二分三厘九毛 | 同二尺六寸七分七厘六毛 | 同二尺九寸五分三厘三毛 | 同二尺二寸一分四厘四毛 | 同二尺二寸七分四厘六毛 |

あやのちりりてあ  
 らげや三尺のま  
 方の面平つりり  
 も五斗に面歩み  
 らぬとさるる  
 小三尺のま歩の  
 面平小八千四百  
 八十二と二ある  
 心きをまほしめ  
 とのまはるんぞや  
 まるこ也再自索  
 一と法二一四



一六と書くは七も  
可なりとあるは  
お遠くを去るは  
家へ改るに不  
ありおのどく  
形御と山御と  
とらええうぬのそ  
右むかしの小森  
とあふくあり  
とそかえあるは  
とまるとり地の  
寸敷改て自の

|   |   |           |   |   |           |
|---|---|-----------|---|---|-----------|
| 二 | 石 | 同日二寸六分六厘  | 三 | 石 | 同日二寸八分三厘二 |
| 四 | 石 | 同日二寸七分九厘七 | 五 | 石 | 同日二寸七分七厘七 |
| 六 | 石 | 同日二寸七分二厘四 | 七 | 石 | 同日二寸六分一厘  |
| 八 | 石 | 同日二寸五分八厘二 | 九 | 石 | 同日二寸五分七厘二 |
| 十 | 石 | 同日二寸四分六厘  | 百 | 石 | 同日二寸四分七厘  |

第二十柄抄京升換り

八類とある人  
まぐたりと  
加わ彼虫の指  
へるは月おの玉  
波の歩法足付  
の人少くと自  
勝りくとあるは  
いふとあるは  
形心御あや又  
孤矢強田裁玉  
観心心強心秘  
事貫くられ

|   |   |           |   |   |           |
|---|---|-----------|---|---|-----------|
| 一 | 合 | 同日二寸九分七厘八 | 二 | 合 | 同日二寸六分四厘二 |
| 三 | 合 | 同日二寸七分七厘  | 四 | 合 | 同日二寸五分九厘  |
| 五 | 合 | 同日二寸五分八厘七 | 六 | 合 | 同日二寸五分七厘  |
| 七 | 合 | 同日二寸四分七厘  | 八 | 合 | 同日二寸四分七厘  |
| 九 | 合 | 同日二寸四分七厘  | 一 | 合 | 同日二寸四分七厘  |
| 二 | 升 | 同日二寸四分七厘  | 三 | 升 | 同日二寸四分七厘  |

七十四

二五



あつてよく知るを  
 志あるはれいあり  
 くくく或人とあ  
 同業虫に二之を  
 兼三組の法と  
 しきく志あるく  
 粥を煮るくそ  
 のう人粥を以てく  
 兼末の志あるを  
 めつ志ある世上よ  
 とりあつてく人と  
 くの志あるはれい

|          |          |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 升四       | 升六       | 升八       | 升一       | 升二       | 升三       |
| 日七寸二分七厘二 | 日八寸二分九厘五 | 日九寸二分九厘  | 日七寸九分八厘  | 日七寸九分八厘  | 日七寸三分八厘  |
| 升五       | 升七       | 升九       | 升一       | 升二       | 升四       |
| 日七寸七分八厘七 | 日八寸六分四厘七 | 日九寸四分〇厘  | 日九寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 升六       | 升八       | 升一       | 升二       | 升三       | 升四       |
| 日八寸二分九厘五 | 日九寸二分九厘  | 日七寸九分八厘  | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 升七       | 升九       | 升一       | 升二       | 升三       | 升四       |
| 日八寸六分四厘七 | 日九寸四分〇厘  | 日七寸九分八厘  | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 升八       | 升一       | 升二       | 升三       | 升四       | 升五       |
| 日九寸二分九厘  | 日七寸九分八厘  | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 升九       | 升一       | 升二       | 升三       | 升四       | 升五       |
| 日九寸四分〇厘  | 日七寸九分八厘  | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 升一       | 升二       | 升三       | 升四       | 升五       | 升六       |
| 日七寸九分八厘  | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 升二       | 升三       | 升四       | 升五       | 升六       | 升七       |
| 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 升三       | 升四       | 升五       | 升六       | 升七       | 升八       |
| 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 升四       | 升五       | 升六       | 升七       | 升八       | 升九       |
| 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |

源博よまの巻  
 あるはれいある  
 志あるはれいある  
 粥を煮るくそ  
 のう人粥を以てく  
 兼末の志あるを  
 めつ志ある世上よ  
 とりあつてく人と  
 くの志あるはれい

|          |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 升五       | 升七       | 升九       | 斗二       | 斗四       |
| 日九寸二分七厘五 | 日九寸七分八厘  | 日九寸四分〇厘  | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 升六       | 升八       | 升一       | 斗三       | 斗五       |
| 日九寸二分九厘  | 日九寸七分三厘七 | 日七寸九分八厘  | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 升七       | 升九       | 升一       | 斗四       | 斗六       |
| 日九寸四分〇厘  | 日九寸七分三厘七 | 日七寸九分八厘  | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 升八       | 升一       | 升二       | 斗五       | 斗七       |
| 日九寸七分三厘七 | 日七寸九分八厘  | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 升九       | 升一       | 升二       | 斗六       | 斗八       |
| 日九寸九分〇厘  | 日七寸九分八厘  | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 斗一       | 斗二       | 斗三       | 斗四       | 斗五       |
| 日七寸九分八厘  | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 斗二       | 斗三       | 斗四       | 斗五       | 斗六       |
| 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 斗三       | 斗四       | 斗五       | 斗六       | 斗七       |
| 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 斗四       | 斗五       | 斗六       | 斗七       | 斗八       |
| 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |
| 斗五       | 斗六       | 斗七       | 斗八       | 斗九       |
| 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 | 日八寸七分三厘七 |



正理を教ふるは表  
 のさしこるあはれ  
 こつちりまるとしに  
 徳の中より美と  
 竊ふふ似たり第一  
 猶も此のまると  
 とる正法をあら  
 せぬふ下はるの  
 分母三のわし  
 のふまの樹を記  
 是是のいれり方  
 程実貞の樹を

|           |           |           |           |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 升七        | 升五        | 升三        | 升一        | 升二        | 升四        | 升六        | 升八        |
| 日九寸七寸五分六厘 | 日七寸四分二分九厘 | 日六寸二分六厘九厘 | 日四寸二分四分七厘 | 日六寸四分七分七厘 | 日九寸八分二分七厘 | 日七寸八分九厘九厘 | 日八寸六分九厘四分 |
| 日七寸五分四分六厘 | 日六寸四分二分九厘 | 日五寸二分四分六厘 | 日四寸二分四分七厘 | 日六寸四分七分七厘 | 日九寸八分二分七厘 | 日七寸八分九厘九厘 | 日八寸六分九厘四分 |
| 日七寸五分四分六厘 | 日六寸四分二分九厘 | 日五寸二分四分六厘 | 日四寸二分四分七厘 | 日六寸四分七分七厘 | 日九寸八分二分七厘 | 日七寸八分九厘九厘 | 日八寸六分九厘四分 |

第一 長子 掃々 續養 大橋

或人同路書箋  
 法寂寂抄撰村  
 若徳の四巻同の  
 抄書古く云ハ先元  
 一と云く摺合望  
 つきの法と并表  
 と甘くると云え  
 こりこまのんま  
 月のふにひと  
 くそあも  
 あしげあめ  
 こし紙面よ記

|           |           |           |           |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 斗一        | 斗二        | 斗三        | 斗四        | 斗五        | 斗一        | 斗二        | 斗三        |
| 日九寸四分二分九厘 | 日七寸四分二分九厘 | 日六寸四分二分九厘 | 日五寸四分二分九厘 | 日四寸四分二分九厘 | 日九寸四分二分九厘 | 日七寸四分二分九厘 | 日六寸四分二分九厘 |
| 日七寸四分二分九厘 | 日六寸四分二分九厘 | 日五寸四分二分九厘 | 日四寸四分二分九厘 | 日三寸四分二分九厘 | 日九寸四分二分九厘 | 日七寸四分二分九厘 | 日六寸四分二分九厘 |
| 日七寸四分二分九厘 | 日六寸四分二分九厘 | 日五寸四分二分九厘 | 日四寸四分二分九厘 | 日三寸四分二分九厘 | 日九寸四分二分九厘 | 日七寸四分二分九厘 | 日六寸四分二分九厘 |

第一 掃々 續養 大橋

斗一  
 斗二



考す所の無造飛  
 泥ねえて雨飛  
 いめんそらちり  
 大極元時置の元  
 互ハ不飛と難さる  
 二まあるは元付て  
 の後みくらうある  
 ことなりこれ天  
 仏教の中ちちく  
 あらぶごとくたと  
 へば天元の一と飛  
 化力りなる

|           |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 斗三        | 斗五        | 斗七        | 斗九        | 石二        |
| 日一尺四寸八分一釐 | 日一尺七寸五分六釐 | 日一尺九寸六分四釐 | 日一尺七寸五分八釐 | 日一尺七寸八分七釐 |
| 日一尺二寸四分八釐 | 日一尺五寸七分二釐 | 日一尺六寸五分九釐 | 日一尺八寸三分九釐 | 日一尺二寸四分九釐 |
| 日一尺四寸八分一釐 | 日一尺七寸五分六釐 | 日一尺九寸六分四釐 | 日一尺七寸五分八釐 | 日一尺七寸八分七釐 |
| 斗四        | 斗六        | 斗八        | 石一        | 石三        |
| 日一尺六寸三分六釐 | 日一尺八寸六分六釐 | 日一尺九寸三分八釐 | 日一尺八寸六分四釐 | 日一尺一寸九分九釐 |
| 日一尺四寸八分九釐 | 日一尺六寸七分八釐 | 日一尺七寸三分九釐 | 日一尺九寸八分一釐 | 日一尺八寸五分七釐 |
| 日一尺二寸七分三釐 | 日一尺五寸七分七釐 | 日一尺七寸三分一釐 | 日一尺八寸六分四釐 | 日一尺六寸八分九釐 |

考す所の無造飛  
 のごとくちちん  
 その元元ハ天元  
 何れ抱測ハ急化  
 あり二ま勘考  
 の有り終終仍々  
 ちちくたまるを  
 知一見の時星の  
 二まハ急化急化  
 不立文字の元  
 互の候仍急化  
 以るるすちちん

|           |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 石四        | 石六        | 石八        | 石十        | 石卅        |
| 日一尺五寸一分二釐 | 日一尺四寸二分二釐 | 日一尺三寸九分九釐 | 日一尺二寸七分二釐 | 日一尺八寸七分七釐 |
| 日一尺一寸四分六釐 | 日一尺二寸九分九釐 | 日一尺一寸八分三釐 | 日一尺二寸六分七釐 | 日一尺一寸五分五釐 |
| 日一尺九寸五分九釐 | 日一尺八寸二分二釐 | 日一尺七寸二分九釐 | 日一尺七寸六分六釐 | 日一尺八寸七分七釐 |
| 石五        | 石七        | 石九        | 石廿        | 石十四       |
| 日一尺七寸八分二釐 | 日一尺六寸二分二釐 | 日一尺五寸七分六釐 | 日一尺四寸七分七釐 | 日一尺七寸六分六釐 |
| 日一尺二寸二分九釐 | 日一尺三寸八分九釐 | 日一尺四寸二分六釐 | 日一尺五寸七分七釐 | 日一尺六寸七分九釐 |
| 日一尺一寸八分九釐 | 日一尺二寸六分七釐 | 日一尺三寸七分八釐 | 日一尺四寸六分一釐 | 日一尺五寸七分九釐 |
| 日一尺七寸八分二釐 | 日一尺六寸二分二釐 | 日一尺五寸七分六釐 | 日一尺四寸七分七釐 | 日一尺六寸七分九釐 |

七十八

七十七



かごもつねに  
付ておきこた  
うありきり

九  
石  
日八五寸五分ハ毛  
日七五寸九分ハ毛  
日六八寸六分ハ毛

百  
石  
日一六寸五分ハ毛  
日九八寸九分ハ毛  
日八八寸五分ハ毛

わくぬすきり  
ゆくびくを  
ひれとれとせ  
まよせんえあや  
のふらぬ

右とけたるひくは  
ちんこりきふら  
己のどにお遠ある  
かろう佛を以て  
之とのあり

らろとあたふ  
わきふちり  
うくい尼入道  
ふるまひとせ

いふありぬらぬいれども又名ついで好執知より及し不道も程あり  
あはれふさと加まんまのなるも天乞のいさなま返しに上出西の方便を  
おま  
法算の同じくしるし算数の幼老と定らぬ表面とさるべし是も又可なり  
まじる南河の敷考より揚きくる幼老なり又其のそのは極く天乞の  
まを引ひぬらぬまふくとまは極つるといふを曰ひぬらぬと  
いふは世々天極天乞の佛式を教人にあらんかるといふは天乞の  
一とまじるといふ法算符の法をて目のとらひとくありまふと  
とまじるといふは算算ふと算算の法法の所傳あるととくは  
まじるといふと加まんまは加まんまは算算の法法の所傳あるととくは  
強ありとのう人彼もぬらぬは佛とて天乞より出さるべしは  
とも天極とまじるといふは前存<sup>前存</sup>お遠しを佛と先びてその  
は佛世ありのまじるといふは他人のまじるといふは佛とて佛と



目のこの法と二品をあるをあるとあるへんつうして目のこの法  
 んのりき編を以て出あつて初うくと感して正術を以て  
 ぐるもの、其意を以てして想して以て勤勤の善い自考を以て  
 めのこの術を以て其天元の本術と疑ひり教業の人より其の正術を  
 勤勤して天極天元と云ふを付録して天元の二を以て目の二  
 本術と以て正術と云ふの成ありあつて故に高定方廣隅を  
 四象又其の成を以て中世の初紀を以て其の正術と云ふ  
 術天元一とて其の術式を以て其の正術と云ふの正術と云ふ  
 ありつてあるひの正術の正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふ  
 つんせが天元の正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふ  
 同天元の一と云ふの正術と目のこの法と二一はありつて  
 本術の書面はありその目のこの法と一はありつてあると云ふ同

善日維金がつりり 百四十箇を以て其の正術と云ふの正術と云ふ  
 つりりどぞと同術と云ふ天元一為方面と云ふを以て其の正術と云ふ  
 方めん十二箇と一と云ふ正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふ  
 十四箇と其の正術を以て其の正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふ  
 其の正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふ  
 のと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ  
 の中にも加くの正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふ  
 正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふ  
 大極と天元との車の正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふ  
 極のと云ふ正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふの正術と云ふ

改算紀綱自大全終











一 永以小物六千目と云々が 後と知るなり  
一 尚阿ハ丁積用内取帯ハ九六錢を内積何百文と  
目と月と記ハ九六と云々知るなり

○米百文ふ六合替り同之斗の代何程と同

答 五斗文

此ハ六合を用安あり一斗と申は是も是も知る

○壹升の米百五十文の同壹升又升之代何程と同

答 貳メ貳百五十文

此ハ百五十文と云々壹升五升と用安あり一斗を是ハ  
貳メ貳百五十文と知るなり

○白米百文之付之合七夕五才の同壹升之代何程と同

答 貳百六十文

此ハ壹升之中ハ一升之合七夕五才と用安あり一斗は  
壹斗之代貳百六十文と知るなり

○壹ノ七十文の丁積と十貳人の別壹人前何程と同

答 四 九十文又下

此ハ壹ノ七十文とあり十二と用安あり一斗は  
壹人前九千貳文五トと云々なり

○八枚之代文之高百八十枚之代何程と同 但九六錢之

答 四 四百二十六文

此ハ廿文と云々八枚由之別ハ壹枚代貳文又トと云々百八十







八十四

壹文武下月を引く

但子養の同の支拂と八と六をとり獨勝の同を引く

○米取之六斗武本五合智之同 武中代何程と同

善四 金壹文ト番半六文

これ六斗武本五合多同安子七武中と中と並に取永二百  
廿文と取武而五下文金壹文と切勝り永七千武文之六斗而文  
之の多の獨勝より同を引く 但取智勝六斗而文  
取我六斗而文

○米取之壹石武本五斗智之同 八斗代何程と同

善四 四メ。九千武文

これ取の取協と同安子七八斗と中と並に取永六斗而文  
先、壹文と勝六斗而文ととるの獨勝の同を引く

但し子養の同の八斗一八とるひん

○大、豆壹斗と月六十四文智之同 金壹文之何程と同

善四 九斗六斗

これ取の取協六斗而文之九六とを七六斗と目安子七割ハ  
あるあり 但し子養の同の取勝一九六とを八三七二取之

○米四斗金之六斗武而文之實金壹文之取協何程と同

善四 五斗壹斗武合

これ金之六斗武而文之勝五メ文と目安子七と取之勝之  
四斗とるひんとあるあり

○米四斗金之六斗武而文之實金壹文之取協何程と同

八十五



答曰 二ノ七百四十八文  
三ノ六百六十二文  
四ノ六百六十二文  
五ノ六百六十二文  
六ノ六百六十二文  
七ノ六百六十二文  
八ノ六百六十二文  
九ノ六百六十二文  
十ノ六百六十二文  
十一ノ六百六十二文  
十二ノ六百六十二文  
十三ノ六百六十二文  
十四ノ六百六十二文  
十五ノ六百六十二文  
十六ノ六百六十二文  
十七ノ六百六十二文  
十八ノ六百六十二文  
十九ノ六百六十二文  
二十ノ六百六十二文

○近頃の東京表紙は由會お物六斗五斗五合勢と同語ある能  
質ともまの六百文その東京表紙お物何程と同

答曰 又斗二升武合八分七文

二斗の八斗七中三斗六斗五斗五合と同安一七割の事と成是  
表紙どうも六斗の代と成るは五斗の六百文と成九ノ七百五  
文と同安三斗五斗五斗六斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五  
割の東京表紙知つてあり

但一斗五錢六の四百文

○近頃の炭山買物一斗三斗二十俵小買入結賃紙ある一俵  
付二十文文の二斗三斗東京表紙お物と同

答曰 武十六俵

二斗の二十俵分の結賃紙あるは五斗の文と成るは六斗五斗五  
斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五  
俵と成るは五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五  
俵と成るは五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五

○米あるは五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五  
升の表紙と成るは五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五

答曰 四斗五斗五

二斗の表紙の表紙と成るは五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五斗五

○板換賃符勘定之事











小判の半目と二平七平五合を割り又四と二と十六と四  
ありとあるなり

三平九と百目入

○編三十本あり百武十ある相場は同三平の代り同  
答曰 撥武百早ぬ 百目代り本下三平  
是八百廿ある法の一と三平の三平代り百早目是中三平  
三平の九と百目と同安する半目と割り餘の法と六

○利息定法 二四 同之 同五 同八

○金指又三平あり三月に百文の利 何種と同

答曰 三平六下

是ハ定法廿四と中三あり十八ある同安する割り三ヶ月百文の  
三平六下とあり又是ハ八の法を割り三平と二平りとあり

又二平りありと三平を五平と三平ヶ月金三あるありとあり

○金武指又三平あり三月に百文の利 何種と同

答曰 三平り武下

是ハ定法二ある中三と武十ある同安は七割り三平り  
武下と改是ハ三平年三あると永百武十文のり小判  
六十目と三平り七ある武下とあり又三割武下五とありとを  
三平り月金三あると六とあり

○三平年三割りあり七令二ある武指五ヶ月貸利と同

答曰 十三ある武下武指五元

是ハ三割り中三と定法の又とあり三平下三平り三平り  
あり是ハ三あると三平り又三平り三平り三平り



○利足小粒勘定の事

○令武十あまき出しく令きあ武分三月月貸利と同

普同 三月下七厘又毛

是ハ武十あまき口とそを八とある武十あの小粒八十粒あり是と  
目安ありてきあ武分にて三月より八十粒と割り三月月を法

○利小利七加勘定の事

○令武あめ利分三年あまきあそそを年利五先利と同

普同 八あト二あま下り

是ハ定法にて中にて三三あを目安ありて割り一割となる  
是を先利七加十一とある是と目安ありて元金五あを中にて三三の  
數ハ年とあまそ永八メ。五十二文とあるハ八文と八あと切替り五  
或文八トハ小割六十目七を是ハ銀と知るべし

○信右村町と何百町と云ふ人揃りもく年貢納り次第

年中に石盛の石盛の格あまの位とんく上中下とつり  
たり先古とあるより餘ありせんとはハ其むそのあはし  
悪く餘ありたりあるふくあると田と極上とん好  
げ同トは古ありたり悪く又いあるさうけ下とん  
好なり別地又ハ小粒利交りの古小下りありあふく  
あると中とん好べし又其家より若合ありたり地  
ありともそ道より松の木海いあるとありあふく  
米むきむあり上田き飯飯き年止して是ききあを  
是其の石とある六合むりの八とを其の石とあり  
ある是とみ年月とつり石盛ハ十みの盛と留りあり

○又公又氏と年より十みの盛と二つに割り年貢七斗五升











加け割り賃銀九匁下と知るなり

○程減る一疋の賃銀百六十六文の幅内二割五分増しと何程と同

普割増賃銀貳百廿四文

柳田定法一の内二より五分を引減り七十五りと減る是と以て之と賃銀百六十六文割丁減貳百十六文と知る是一疋文に付用賃銀之と知るなり

○今玄米四斗二升七内一割減し春白米何程と同

普白米三斗七升八合

柳田定法一の内一より五分を引減り九分と減る是と玄米七斗五升一内白米三斗七升八合と知る

○今内一割五分減し春白米一石二斗貳升なりは玄米何程と同

普玄米一石五斗

柳田定法一の内一割五分を引減り八分八厘と知る是を以て一石二斗二升と知る玄米一石五斗と知るなり

○玄米一石八斗七外二より減し春白米何程と同

普白米三石六斗

柳田二割と定法一と如く一二と知る是を以て玄米三斗八斗七割白米三石六斗と知るなり

○内二割の増減以外何割の増減もあらずと同

普外二割五分の増減もあらず







乞と法とを内割とて是か知らる

○利息の法ハの積りの事

○今令十文に付令壹百の利息を而文と利息は二月八文の  
利ありと同

○百文に付二文也

御田令壹分永廿百五十文と進十文の金よと進一ヶ月とある  
永廿又文とある之は此の法に依りての法也御田令壹分月而文の利  
永二文九下〇六二五とあるこれに積相場なり武文九一五廿九六  
と云ふ武文也とある是と二四の法と定むるなり  
但し或積と云ふ而文なり

○利息の法ハの積りの事

○今一月の文に付壹文六下りの利息は壹ヶ年何割の利と同

○壹ヶ年令壹百に付二割

御田令壹文六下りと進十二月と進廿九文二トある又九十六文と進割が  
壹ヶ年而に付廿文の利とある是は壹ヶ年積六下り而文とあるは  
壹ヶ年壹百の利息は百八十文とある又壹百の積は是れが  
永二而文とある

但し百算の何れ壹文六下りハて割は知らる

○利息の法ハの積りの事

○今壹百を壹ヶ年二りの利息を壹百に付一ヶ月何割と同

○壹ヶ月令壹百に付一割

御田二りの一割六下り同と云ふ武文とある是と十二ヶ月で  
是を壹百と知らる



又二割ハ五とをきかきと知らるりとの五の法とい小割六十圓と  
 十二ヶ月を以てては五とある是の法とすきき年一五と  
 何割ありては六の法とすきか一月をきかハ何割ありては

| 元金  | 月利金         | 年利割 | 元金   | 月利金         | 年利割     |
|-----|-------------|-----|------|-------------|---------|
| 百兩  | 一分ハ三分       |     | 九十五兩 | 一分          | 三分リ五毛七糸 |
| 九十兩 | 一分ハ三分三厘三糸   |     | 八十五兩 | 一分ハ三分五リ二毛九糸 |         |
| 八十兩 | 一分ハ三分七リ五毛   |     | 七十五兩 | 一分ハ四分       |         |
| 七十兩 | 一分ハ四分二リ八毛五糸 |     | 六十五兩 | 一分ハ四分六リ一毛五糸 |         |
| 六十兩 | 一分ハ五分       |     | 五十五兩 | 一分ハ五分四リ五毛四糸 |         |
| 五十兩 | 一分ハ六分       |     | 四十五兩 | 一分ハ六分六リ六毛六糸 |         |
| 四十兩 | 一分ハ七分五リ     |     | 三十五兩 | 一分ハ八分五リ七毛一糸 |         |

|      |             |      |                |
|------|-------------|------|----------------|
| 三十兩  | 一分ハ一割       | 二十五兩 | 一分ハ一割二分        |
| 二十兩  | 一分ハ一割五毛     | 十五兩  | 一分ハ二割          |
| 十二兩  | 一分ハ一割六毛     | 十兩   | 一分ハ三割          |
| 九兩   | 一分ハ一割七毛五糸   | 八兩   | 一分ハ三割七毛五リ      |
| 七兩二分 | 一分ハ四割       | 七兩   | 一分ハ四割一分ハ八リ五毛七糸 |
| 六兩二分 | 一分ハ四割六分五毛七糸 | 六兩   | 一分ハ五割          |
| 五兩二分 | 一分ハ五割四毛五毛七糸 | 五兩   | 一分ハ六割          |
| 四兩二分 | 一分ハ六割六毛七毛七糸 | 四兩   | 一分ハ七割八分        |
| 三兩二分 | 一分ハ八割六毛七毛七糸 | 三兩   | 一分ハ十割          |

○年利一割ハ元金何程も七月利金壹分ハ同  
 月利金壹分の元金貳十兩



御田月利金差分の永或百五十文と壹一ヶ月月数十二ヶ月  
とある金二兩と成是と年利一割五分を以て月利金差分の  
元金二十兩とある

○今金と貸金との二ヶ月年利一割也毎年利二割を加えて  
先利金合を六百六十五兩或分とあり元金何程と同

昔元金五百兩

御田年利一割(一)と加え(二)とある初年法と成是と成方(壹)元金合を  
一個二兩と成二率法と成初年法の法を一個二兩と成一兩と成  
三率法と成初年法の法を一個二兩と成一兩と成二率法と成  
初年法の法を一個二兩と成一兩と成三率法と成  
初年法の法を一個二兩と成一兩と成三率法と成  
初年法の法を一個二兩と成一兩と成三率法と成

○上田或及家石盛十五斗七升何程と同

昔二石二

或及小盛とあり之を以て四斗六升とあり納金と同

納金二斗八升

或及小盛とあり之を以て納米とあり或四斗六升とあり之を以て納米とあり  
目付四斗六升の納米あり

○或及石とあり小盛三斗

一但し二百石の村是れ小盛三斗六十斗といふ之を二百斗又斗  
同量月五斗月但し一石別ハ三五斗十斗月ハ九斗十斗  
とあり割也何石の村ありとも六月月の五斗とあり之を以て  
とあり之れ一但し石盛三斗六十斗といふ

或及石とあり何石月而姓とあり之れ一斗月而姓とあり之れ一斗月而姓とあり



倍して石字とむらびし或は米二石をるり米賣納米の由百  
種あるに因るとむらびしむらびし倍く少の遠ひらぬ

○畑賣代下毛の奉貢 賣代物米と九つ小割て下毛かき  
りく奉貢折るり井田の法といふあり

○干纏令十枚付十八俵小買入武俵の割と尺く十六俵つり  
賣折以利令十枚あり元金俵敷と同

言 金九十六枚 俵敷百七十武俵八卜  
十八俵の内十六俵と引武俵と同安まりり利令十枚あり十六  
俵とより中一重武俵より割り元金とあり又十八俵と元  
金の九十六枚とをよむに俵敷とあり

○今日大坂へ出立し一日に十二里の左中ふり老ふ  
五日浦とむらびし一人の二日廿里の道中より何日同  
小送付のや日敷と同

言 七日廿日  
是の二十里の内十二里と引八里と同安まりり十二里と  
引とをよ中一重割り知るあり

○壁の唐紙を張る積りの事

一長廿寸を丈横二丈六寸の壁に唐紙を張る同但し唐紙  
横二丈六寸長廿寸を丈五寸の唐紙何枚買調る

言 二十枚

是の壁の長廿寸を丈横二丈六寸とけ合と人四方の壁を  
二十六枚と張是の中一重唐紙の長廿寸を丈五寸を丈



二寸と云はるは是尺四寸より紙一枚厚敷を投八とある  
是と目安にして割の知悉なるなり

○味増極貴買の事

金壹枚の味増二十日替に七味増壹の目の代何程と同  
替味増壹の目代銀貳枚 併し支替銀六十日  
御の支銀六十日と金壹枚のみを二平の目にて置き  
の代銀貳枚とあるなり

○金壹枚の味増十八日替よりして金貳枚の味増何程と同

替 金貳枚の付味増貳貳貳而五十日  
御の金壹枚のみを十八日替と並八と取て置き 金貳枚の味  
増貳貳而五十日とあるなり

○金壹枚の味増十四日替よりして金壹枚の味増十  
何程と同 但し支替銀六十日

替 四十五枚  
御の味増十而五十日と並支替銀六十日と云け 金壹枚の味増十四  
日替よりして 代銀半五枚とあるなり

○金壹枚の味増十五而八百日替よりして而文の味増何程と同

替 而文の味増而七十五日 但し支替銀九の文  
御の金壹枚の味増十五而八百日と並支替銀九の文より  
而文の味増とあるなり

○金壹枚の味増五倍を替じて而六十の代金何程と同

替 金二十枚



御田代百六十八俵と重入俵百五十九俵とあり

○今重入の俵六俵割ふして二十五俵小俵何程と同

言 百五十俵

御田代百五十五俵と重入重入の俵六俵と重入百六十一俵と

○今重入の俵五俵割ふして一俵代細何程と同

言 貳ノ文

但し重入下俵十ノ文

重入俵十ノ文と重入重入の俵五俵小別何程とあり

○今重入の俵三俵割ふして一俵百八俵の代細何程と同

言 重入ノ八百目

但し重入下俵六十ノ文

御田代百八俵と重入重入の俵六十俵と重入百六十二俵とあり

重入の俵百八俵とあり

○重入の代丁細百五十五俵重入の一俵の代と同

言 百八ノ文

但し一俵のみ

御田代百の代丁細百五十五俵と一俵入の三俵まで割りあり

○重入外丁細百八十五俵重入の重入五十俵何程と同

言 重入ノ五十文付七外

御田代百五十五俵と重入一俵の代百八十五俵と割り五十俵の俵七俵とあり

○今一俵三俵六俵八俵の竹系俵十八俵あり代りに重入

八俵入の御田代重入何程何程と同

百



善舟田地之十六儀

御小田十八儀と云々六年六斗と云々七年八斗と云々  
御田儀とあるなり

○今御田儀之申入外八の代額五十九文トスリとの取扱  
のと此善舟の代額何程と同

善善舟の代額五十五文トスリ

御小田五十九文トスリとありと申入申入と云々  
善舟の代額五十五文トスリとあり

○丁錢省額之事

而文とのりく而文と云々丁錢と云い方今通用申入  
又九十六文と云い而文と云々省錢といふは以前申入  
用申入されども十文より下へ丁錢を用也

○今省錢ハ費五百文と丁錢申して何程と同

善ハ費百六十文

御田省錢ハ費五百文と申定法九斗又堂子と云々  
丁錢六〇百六十文とあり

○今省錢六費九百斗或文と丁錢申して何程と同

善六〇六五十六文

御田省錢六費九百斗或文とあり而文といふ定法



九分又重とのよりて丁銀六の六百八十文と知るなり

○今丁銀六の六百七十文を省錢とて何程と同

言省錢六の八百九十文

御四丁銀三の六百七十文と別記定法九分又重とつて  
と省錢三の八百九十文知るなり

○今丁銀二十七費四百八十八文を省錢とて何程と同

言省錢六十八の六百二十文

御四丁銀三の六百八十文と省面文以上と定法九分又重とつて  
より省錢廿八の六百二十文と知るなり

但し十文以下は丁銀と用ゆる故に  
限るより省錢五十文と知るなり

○今小判而五十五兩三分あり金量其の銀お場六十兩と

し七兩何程と同

言銀九兩三分五厘

御四兩五十五兩三分と別記三分とより四兩七割六分を  
のより七兩と知るなり

○今銀貳十兩費四百九十文あり金量其の銀お場六十

兩より七兩何程と同

言金二兩五十七兩

御四兩廿五の四百九十文と重六十兩より七兩と知るなり

○今金壹兩の銀お場九十六兩より八兩五百六十文の何

程の銀何程と同 但し銀お場六十兩と



○今全金を差ぬ九六錢七<sup>分</sup>ニ武百文のと此銀を差ぬの辨何程  
と同 但し銀お物六千目  
目之より百文より百文目を出し

○今全金を差ぬ九六錢七<sup>分</sup>ニ武百文のと此銀を差ぬの辨何程  
と同 但し銀お物六千目

○今全金を差ぬ九六錢七<sup>分</sup>ニ武百文のと此銀を差ぬの辨何程  
と同 但し銀お物六千目  
但し一<sup>分</sup>ニ差あり

○今全金を差ぬ九六錢七<sup>分</sup>ニ武百文のと此銀を差ぬの辨何程  
と同 但し銀お物六千目  
但し一<sup>分</sup>ニ差あり

○今全金を差ぬ九六錢七<sup>分</sup>ニ武百文のと此銀を差ぬの辨何程  
と同 但し銀お物六千目  
但し一<sup>分</sup>ニ差あり

○今全金を差ぬ九六錢七<sup>分</sup>ニ武百文のと此銀を差ぬの辨何程  
と同 但し銀お物六千目  
但し一<sup>分</sup>ニ差あり

○今全金を差ぬ九六錢七<sup>分</sup>ニ武百文のと此銀を差ぬの辨何程  
と同 但し銀お物六千目  
但し一<sup>分</sup>ニ差あり

○今全金を差ぬ九六錢七<sup>分</sup>ニ武百文のと此銀を差ぬの辨何程  
と同 但し銀お物六千目  
但し一<sup>分</sup>ニ差あり



答銭百五十三貫文

御向十八貫と重ぬ替銭八ノ五百文をそて十八貫と銭百五十二ノ文と知るなり

○今金壹両小丁銭十ノ文替りて金百五十八貫貳分貳厘の代銭何程と問

答金五百五十六貫貳百二十五文

御向金百五十五貫永六百貳十五文と重ぬ替銭十ノ文と知るなり

○今銭九十貫八百文有金壹両の銭お場十貫八百文のお場りて金何程と問

答金八百二ノ文

御向十貫。八百文と似く九十四貫五百文とさる金と知るなり

○今金壹両小銭六貫八百文のお場りて金五両五分の代銭何程と問

答二十五貫七百文

御向金五両五分と重ぬ替りて金六貫八百文と知るなり

○今金壹両小銭六貫六百六十文替りて銭七百七十九貫。六十文の代金何程と問

答金六百六十八貫貳分十銭六百六十四文

御向金替銭六ノ百六十文と重ぬ以上一定法九分



と至丁織六費四本文と成七法と成七十七九〇六十  
四文と至百文以上一定法九分六厘と成七百四十七九百  
〇四文と成七法と成七〇〇金五百六十八文永六而文と成  
け内五本文と金五分と成七〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
文と成百文以上一定法九分六厘と成七百四十七九百  
と成七法と成七〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

○今金と成百六十目幣ありて銀二百二十文の代紙何程  
と同 併て成銀六〇八而文

善紙或十五費又百文

御田成善紙六〇八而文と至百文以上一定法九分六厘と成  
或十八文と成七法と成七百四十七九百〇四文と成七  
百文と成七法と成七百四十七九百〇四文と成七法と成

と成百文以上一定法九分六厘と成七百四十七九百〇四文

○今銀八費百十二文成銀七十五文の代紙何程と同

善紙七十五文

御田成銀八費五百十二文と成八百五十五文なり一定法九分六厘と  
成八百五十五文と成八百五十五文と成八百五十五文と成  
八百五十五文と成八百五十五文と成八百五十五文と成

○今白銀百十枚あり是七金と成付二十目金に成る同  
金何程と同 併て銀七十五文

善紙七十八文五分下銀五文

御田成百十枚と成七十三文と成六十六目と成りて成る



○今銀壹匁の代百廿八文ありて銀壹匁ハ下の代錢を問

答錢六百十九文ハト

御との壹匁の代錢百廿八文と重内同文同辨と引丁辨百廿八文と成是(銀壹匁ハト)とを五百九十九文ハトと成る百文以上室法九分六リとるよりて知らん

○今銀壹匁の代錢百廿三文のと此金壹匁の錢お傍何  
額と問 傳し本替銀六十目

答金壹匁の辨八貫文

御の四銀壹匁の代錢百廿三文と重以内百文ハ同文同辨と引丁錢百廿八文と成是(本替六十目と)より丁錢七十六百廿三文と成る百文以上と九六とより 壹匁辨八匁文と知らん

○今一錢壹匁文ハ付銀六百匁ありて銀壹匁の代錢を問

答銀壹匁の代錢丁錢百六十六文ハト

御の丁錢壹匁の文ハ銀お傍六百匁ありて割ハ錢壹匁の代銀百六十六文ハト知らん

○小判のお傍五十六匁ありの同銀五十五匁ハ何程お傍と問

答金二匁貳束ト銀六匁あり

御との五十二匁とハるて割ハ金貳束の代八匁とあるは七匁と銀五十八匁と上一けは二匁ハ貳束七切と下の六匁ハ銀六匁ハ貳束七匁と二匁ハよりて二匁貳束と知らん

○小判のきろを五十八匁ありの同銀九百貳十七匁ハ何程あり  
金小車ありて何程と問

百六



答合十五支の武集

佛四九百武十七支五重とあり二二三の武集十五支六十支  
七分入ると又別にお坊五十八支と八支の武集の  
代七支武トありと破是を宮のより跡り又十支七トあり  
と武集七ツと破は七と二と武集の武集あり  
この五の武集の武集あり▲小判のお坊より内の銀の  
武集の代りより武集何切と云て又二ツより何  
支と知りてより

○今十銭の紙幣十三枚二十銭の紙幣八枚ありは銀を  
合せて何程と同 但お智銀六十支

答銀百七十四支  
佛十十銭十三枚と重その上へ二十銭八枚と二八十六とあり

二十九枚と銀と是を喜銀六十目せうけて銀をせは

○醫油増減秘傳

- ▲六斗実六 四石六斗
- ▲七斗実六 四石四斗六斗
- ▲八斗実六 四石六斗八斗
- ▲斗実六 五石六斗
- ▲七斗実六 四石三斗
- ▲八斗実六 四石六斗六斗
- ▲九斗実六 四石八斗

ある十石の武集又石小武集の仕廻あり  
計も実も十石づつ八斗実とありあり

六斗実の佛の田計十石の武集小武集二石の武集の世を十六石と  
七斗実の武集と武集を合せて六斗実の佛四石の武集と知るあり  
七斗実の武集と武集と合せて十七石の武集の武集と知るあり  
武集の武集の武集と知るは外何斗実と武集の武集の佛あり

百七







御田九百石女六トの内本振六百六十月引續て之百二十  
女二トを本振六百二十月引トとせりるあり

○醬油仕込々事

大夏又十月 小麦三十二月 塩 八リシ 薪八ノ月之  
糶 壹ちん一石と付武女リ

実物右の巻帳あめりて是は牙用ハ糶りの生仕込りて七斗  
実十石仕込壹斗の代振何程と問

答 振二百九十四女八ト五重

御田大夏又十月、之石又斗、そのや、百七十六女と取小麦二石  
六斗と三十五女とりのや、百五十女とある塩四石三斗ハ  
ハリシとりのや、三十四女引トとある薪十九石と八ノ月と刻  
ハ糶りも引四十八女九ト二リシ 壹ちん大夏小麦七石と二女と

わけ十石女七と合をてをりるあり

○右の醬油をあめりて一斗りりごとと取ハ重何れとに  
取と問

答 二百八十六女九ト四リシ 但あめりて付代八女ハ

御田粘り名の代ハ女と粘り中、年の代ハ女四ト四リシと本振  
二百九十女八ト六重とるハ、同六女二ト九リシと取とを別ハ醬  
油九石六斗ハあめりて名とるハ、十石六斗とせりるあり

○右の醬油をさるハ、一斗七斗女と養と取ハ十石と付代引  
何程と問

答 二百九女四女ハ

御田七十女と外まらりの法十一と、同六女三ト女二ト



と成内本より三百八十六枚九分四厘引く

○今酒十路の代金七十八枚ありて是摺の代何程と同

答金三枚三分

但し十路の代

御と白十路の代金七十五枚と重二十とありて割金之數ト永七百五十文と願との七百六十文と金三分と一是摺の代金と重三分とあり

○今酒十路の代八十五枚ありて五百八十八路の代金と同

答金五枚〇〇重兩三分

御と白十路の代八十五枚永五百文と重是一は五百八十八路とあり金八〇〇と重是ともとありあり

○今酒十路の代金四十五枚三分ありて九摺の代金と同

答代金或十枚〇或も一摺の或或ト八重

御と白十路の代金軍八枚ト永七百五十文と重九摺と金四五十枚永七百七十文と重是と或十摺ありて金或十枚永八百八十七文五と或代六百八十七文五下の内五百文と或分とあり八十七文六か一は摺六十目と重五枚或も八重とあり

○今酒十路の代金四枚或ありて一摺の代金何程と同

御と白十路の代金

答金五枚の代金七面六十或文或トあり

御と白十路の代金四枚永八百六十文と重百文以上定法九か八重とあり丁銀六十或百二十文とあり是と重とい一摺の代金或ト永百二十文と重法とあり一摺の代金八斗八重とあり丁銀七十と十

百廿

百廿







○今酒壹年の代壹文二百五斗或文より七斗五斗の代格何程と同

答代格六文

例四一升の代格壹文三百五斗或文壹百文以上九六を  
壹文或百八十文とあるは下儀八斗五斗入斗七斗入斗  
七斗入斗文とある百文以上九六を七斗四斗入斗の代  
六文とある

○今下酒壹年の代と上酒五斗の代と同あり下酒六斗或  
合五斗の程りに上酒とあるは上酒の代目代格同

答二升或六斗或

例六斗或六斗五斗とあり五斗とあり上酒  
の代目とある

○今壹升より付格或八斗の上酒七斗六斗ありと是に  
壹年付六斗の下酒と交せ合を壹年八斗の中酒を格  
何下酒交せり升何程と同

答一酒交升壹年七斗壹年

例一上酒壹年の代の中酒の代と引合五斗とある是に  
七斗壹年の升數とあるは四斗或とあると是を實とす別  
中酒の代は是より下酒の代を引合或は是を引合と  
より下酒交升數壹年七斗壹年とある

○今味淋酒壹年張格或八斗より七斗百斗或味淋酒  
何程と同

答味淋酒壹年二升八合

例一四張半同とある一升の代格或八斗より別一斗或平



入念と知る

○茶種賣買之事

茶種一斤の懸目

|       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 一兩目ハ  | 掛目四文目 | 一斤ハ   | 百     |
| 大目一斤ハ | 百六十目  | 大目一斤ハ | 百八十目  |
| 大目一斤ハ | 二百目   | 白目一斤ハ | 二百半目  |
| 山目一斤ハ | 二百五十目 | 産目一斤ハ | 二百十文目 |

産目一斤の掛目ハ産目より同様に

○今又黄一櫃二十五斤入の代銀壹百七十八文買らるる一斤の代銀物程と同

答一斤の代銀百七十八文買らるる

御田一櫃の代銀百七十八文買らるる一斤の代銀物程と同

○今又黄一斤の代銀八十五文買らるる一斤の代銀物程

答一斤の代銀百六十目

御一斤を月百六十目

御一斤の代銀百六十目買らるる一斤の代銀物程と同

○今又黄一斤の代銀百六十目買らるる一斤の代銀物程と同

答一斤十兩



御田を廿四目とあり百六十目とあり上二柳田を廿六目とあり  
軍田とあり廿四目とありてより六行十目とあり

○おせう廿八行あり廿四目何程と問

答 廿四目あり

御田を廿行百六十目とあり廿八行をうまてあり

○今丁子十八行十五目あり廿四目何程と問

答 二ノ九百四十目

御田十八行とあり百六十目とあり廿四目何程と問  
又十八行とあり廿四目とあり廿四目何程と問  
二ノ九百四十目とあり

○今おせう一十行とあり廿四目何程と問

答 八十六目四下

御田十八行とあり廿四目何程と問  
の代銀とあり

○今おせう一十行とあり廿四目何程と問

答 七拾貳目

御田十八行とあり廿四目何程と問  
の代銀とあり

○今おせう一十行とあり廿四目何程と問

答 八十七目八下

御田十八行とあり廿四目何程と問  
の代銀とあり



壹竹の目百六十目を二つにわけるあり

○今を二つ一竹の代目八トの時壹目目の代何程と同

御田壹竹目八トを四十二よりてある

○今を二つ壹目目の代目七トの時十壹目目の代と同

答十六女七ト

御田二女あり十女を二つにわけるありとわける女七トと  
よりて十女ある代とある

又云或女七トとより二より壹三トありと或女二十トを  
又云或女七トとより二女をよりて二女をよりてより

○今銀四百五十女を取て壹目目三十二女の御田と  
壹目目三十一女武女の人参と實目人参壹目目實目  
御田三目目實目より各何程と同

答 人参二女目 代銀百六十六女  
御田九女目 代銀二百廿四女

御田御田御田壹目目の代三十三女二二どのを是の人参  
壹目目の代目或女をよりて實目又十女をより人参二女  
とより是より二どのを御田九女目と知る是より二十六女を  
より御田の代銀と人参二女目一十女をよりけり  
人参の代銀と知る

○今廣東人参一竹の代三百七十女より二目七百六十  
六女目の代銀何程と同

此一竹百六十目



答代銀壹千七百四十匁或六百匁

佛く四を同七百又十六匁とあり一斤の代銀三百七十匁とある  
或七百七十九匁七百或十匁とあるとあると色と一斤のうけ同百六十匁  
ありてその代銀とある

○今濃美壹斤の代銀百七十匁四下六匁ありてを同十一匁  
五下の代銀何程と問  
主斤の是同三百十匁同

答代銀千匁三下武厘五匁

佛く四を同十二匁同又分と重所め代銀百七十匁四下六匁  
とあるを銀武匁六百十八匁或下四匁と成是と一斤の是同二百十匁  
ありてその代銀とある

○今上下の甘草二品あり各壹斤の代銀は均九匁或十

又上より下一斤の付銀三分武厘壹下上下のく一斤の  
代銀何と問

答 上一斤の代銀九匁三分六厘  
下一斤の代銀武十九匁。二厘

佛く四安銀三分二厘と重二匁ありとあるとあるとある  
一斤の代銀四十九匁或十匁と加上一斤の代銀九匁三分六厘  
と成は四安銀三分武厘とありて一斤の代銀とある

○今山椒末壹の武百六十匁あり百八十匁壹斤ありて  
何斤の成と問

答七斤あり

佛く四壹の武百六十匁と重壹斤のうけ同百八十匁と刻  
七斤とある



○今山崎東又十斤ありは費用何程と同

答九 費用

御之田八十斤二百八十目と云ふて初之

○二百斤目を斤を代八匁下の物を田女を妻の代  
何程と同

答妻分田リ

御之田八匁入分を妻の目女と云ふて二百斤目と云ふ

又田

○今二百と下女を斤を代八匁下の物を二百八十目を斤を  
何程と同 答田女

御田二百八十匁と云ふて下八リと云ふて二百と十匁と云ふ

百二十一



